

令和7年11月14日
九州支社

【関門トンネルにおける現状と今後の維持管理についてのお知らせ】

関門トンネルは、本州と九州を結ぶ重要な交通インフラとして、開通から67年を迎えた今も、日々多くの車両（約24,900台/日）のご利用をいただいております。

西日本高速道路では、関門トンネルの安全・安心を守るため、定期的な点検や補修、修繕を行っておりますが、海底トンネルという特殊な環境で老朽化が進行しており、今後の管理では適切な時期での更新や予防保全が必須となっています。

また、料金所周辺の渋滞や車線逸脱による事故の発生などの課題があり、ETC導入や、車線区分構造の設置などこれら顕在化する課題への対応も必要です。

これらの対応を行い、引き続き関門トンネルを安全・安心にご利用いただくためには現行料金に加えて、追加的な利用者負担についても検討が必要となっています。

HPでは、関門トンネルの現状と課題、今後の維持管理についてご紹介していますのでご一読いただければ幸いです。

■リンク先

https://corp.w-nexco.co.jp/activity/branch/kyushu/kammon_summary/

■QRコード

